

中道北小学校移転 宮下自治会説明会 会議録

日	時	平成28年8月29日(月) 午後7時30分～8時40分		
場	所	宮下自治会集会場	当日参加者数	12人
教育委員会	長谷川教育長・数野教育部長・嶋田教育総室長・深澤総務課長・村田総務課課長補佐・鷹野総務課係長・山本総務課主任			

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 住民説明会の経過の説明
- 4 候補地とその理由の説明

- 5 意見交換

住民 3回程住民説明会に参加した。あまりにも意見を聞きすぎというか、当初5月に決めるとのことであり、それで終わると思っていたが、下曾根の人達が南の方にしたいということで、笹南中と一緒にしてほしいなどの噂を聞いた。このような収集がつかないような状態にどうしてなってしまったのか。避難所としての機能が果たせなくなってしまうということ。環境影響評価書は国が認めたものであり、樋口市長も適地と考えるということで、これを覆すことが起こるのか、いち住民として考えていた。裏があるのかないかいろいろ考えた。100歩譲っても候補地案ではないかと思う。

本来ならば、白井地区、文珠、下区辺りが、自治会数も児童数も多いと思うので児童館の辺り。農地改良の部分は、資料の黄色い線よりももっと広い範囲であり、リニアがその上を通るが、農振の除外は平成41年ということで少し気になる部分ではある。これ以上は、収集がつかなくなるのではないかと思う。場所としては、候補地案が最適地ではないかと思う。

住民 黄色の線はAエリアの線であり、農振のエリアではない。

住民 教育委員会としていろいろな制約を外して一番良いというのはAエリアなのか。そのように思っていたということでもよいのか。A、B、Cのエリアの中で教育委員会としてどの場所が一番良かったのか。

教委 教育委員会としては、いろいろな面で配慮する必要がある。その中では、Aエリアの児童館と駐在所の道を挟んだ東側もかなり有力な場所だと考えた。現地も確認してみた。どうしても畑灌事業の関係でできないということで、候補から外した経過があるが、かなり良い場所であるとは思っていた。ただし、総合的に判断して選んでいるのが、候補地案である。総合的という部分で、Aエリアを表記するときには考えていなかった状況がある。

住民 平成41年までは、農振の除外ができないため、候補地から除いたとのことであるが、世の中どの法律を見ても除外規定がある。国が進めるリニアが通ることにより、小学校を移転しなければならない。そうであれば41年までという話も、小学校の敷地分のみを除外すればよいのにもかかわらず、41年までは無理だといっている。国のプロジェクトで小学校を移転しなければならないといいながら除外ができない。国と協議をした結果がこうなのか。

教委 各地でこの質問は出る。教育委員会は、市の農政サイド、県の農政サイドと検討している。国とは直接協議していない。農振除外は県の権限であるので県と協議している。なぜ国家プロジェクトのリニアができて、それに伴う小学校が駄目なのかということであるが、憲法が最上位の法律であるが、法律には上下関係がある。リニアの開通については外せれるということで規定されているが、それに伴う学校の建設については、一般の法律の中でやらなければならないということである。学校について、優先規定や適用除外規定がない。

住民 派出所は新しくできているが、どうしてできないのか。

教委 他の地域でも、除外をした場所はある。平成24年から33年間まで国の事業を行っているが、その後8年間は除外できないという規定がある。それ以前であれば可能である。

住民 中央道南側というのは反対である。中央道の南側というのは、これからどのような開発がくるのかわからない。教育環境にとって良い開発ばかりくることはありえない。土地の形状が台形のような形になるので、学校の敷地としてはどうかと思うことと、開発のこと、中央道南側で校舎の位置が南側になると、白井などから見ると、なお遠くなってしまうことなどから、南側は賛成できない。

住民 人家がまったくないエリアにもっていくというのは、おかしいのではないかと思う。

住民 住民説明会で2回、自治会長の説明会で1回説明を受け、それぞれの方の意見を何回か聞いているが、南側という意見の主な意見が3方を囲まれて圧迫感があるので教育環境に良くないというのが主な理由のようであるが、教育については詳しくないが、北側の圧迫感というのはそんなに教育に影響するものなのか。

教委 各地区で同じ説明をしているが、納得してくれる人とそうでない人がいる。3方を囲まれるということであるが、現在の北小学校のグラウンドに立つと西側に高さ6mの土手があり国道が通っている。近くにいてすごく圧迫感があり恐怖を感じるということがあるのか。南の方へいったときには11mの中央道がある。北小学校のグラウンドから見ても背後の山は見える。北小学校の2階の教室のベランダから見ると、国道と同じ位の高さになる。子どもたちが授業を受ける環境の2階、3階からは、圧迫感はなくかなり遠くまで見渡すことができる。3方といったときに背後に高さ30mのリニアが通るが、これは全部コンクリートの壁ではなく、約40m間隔で柱が立つということなので、全部を塞がれるわけではない。説明会でもイメージ図を示した。受け取り方にもよるかもしれないが、一部の方は蟻地獄と表現しているが、

そのようにはならなのではないかと思っている。

また、中央道南側で中央道付近に校舎を建てた場合、背後に高さ11mの中央道、西は国道が通っている。土手はだんだん低くなっていくが、手前奥は6mの土手となる。東側はインターの関係で上っており、樹木が茂っているので視界を遮る。やはり3方を囲まれている。しかも、いくら防音対策をしても、2階、3階あたりが中央道の路面と同じ位になるので、音が入ってくるのではないかと思っている。1年中窓を閉め切りにできないので、駄目だろうと思っている。校舎を建てるのであれば、敷地の南側になるのではないかと考えているが、グラウンドの真ん中に立つと、前は中央道、西は国道の土手、南側は校舎、東側はインターの樹木であるので、四方を囲まれてしまう。通常は学校の安全管理のため職員室から校庭が見えるようになっているが、南側に校舎を建てると、光をとる関係で教室は南側に配置するので、北側が廊下になるので職員室から校庭を見ることができなくなり、安全管理上も問題があるのではないかと思っている。

住民 説明会も前半2回参加した。いろいろな方の話を聞く中で、やはり白井の方も下曽根の方も何とか自分達の近くにもってきたいということで、いろいろな理由をたてて言っているように思う。それぞれの思惑があるので折衷案は難しいのかと思う。

この宮下あたりは中間的な位置になるが、考えてほしいのは、子供が安心して通えて勉強できる環境のところに建ててほしいと願っている。そのための1つとして、民家や駐在所に近いところというのが大きな条件であると思う。どうしても民家から離れていると不審者などの心配がある。景観の話が出たが、むしろ昨今の状況からすると、ある程度囲まれていたほうが安全な部分があるのではないか。場所的にいうと、中央道北側が良いのではないかと思う。南側だと国道が下がってくる。国道はいろいろな人が通り、下がってくということは学校の敷地に入りやすいということも心配される。北側では、国道が良い意味で壁になり、中央道が壁になるので、学校の対不審者と考えると安全対策になるのではないかと思う。説明にもあったが、校舎がグラウンドの南側というのは、グラウンドが見えない、あるいは、冬に雪が降った場合には、グラウンドの雪解けが遅くなり、子ども達の活動に制限を受けるので良くないと思う。

本来的には、磁場や騒音などを考えるともっと良い場所がないかと考えるが、現状の中でいうと中央道北側のところと考える。

住民 小学校移転の考え方のところの人口動態や地域発展についてリニアが通ることによりこの地区をどう考えているか。移転の規模についてどのような考えですか。

教委 人口がどうなるか、地域の発展をどう考えるか。まちづくり的な意味合いであるが、教育委員会では、今年の5月からこの問題の協議に入ってきたが、県知事が代わり、前知事はリニア駅周辺にまちをつくらないといっていたが、後藤知事は、半径2、3kmの範囲についてまちづくりをしていくということで、県で検討しているようである。半径2km位の中には中道地区もかなり含まれることになるが、そのようなことを考えると、県が何らかのことは行う、あるいは民間が入ってくることが十分に考えられる。このようなところに産業が立地する。例えば、工場であるとか、あるいは商業施設など。そうすると人口が増加する可能性がある。

また、地元で働ける場所があると、地元から外に出ずに残る可能性がある。今後、山梨圏内

で人口の予測がつかないのが、リニア駅周辺からインターチェンジのあるこの中道地域であると思っている。人口の増える可能性が高い地域であると思っている。

リニアによる北小学校の移転を考えたときに、南小学校との統合という考えもあるが、統合してから人口が増え始め、教室が足りなくなってしまうのは困るので、今回は、学区内での移転にしようというのは、その辺の考えがあるからである。

学校の規模については、現在の北小学校は、かつて、小学校と中学校が同じところにあったので、甲府市内においても敷地の規模は大きい。移転すると1000㎡くらい狭くなるが、甲府市内における同程度の児童数の小学校と比較すると、平均より上である。

今後、児童数がどのようになるのかわからないので、候補地として示したところで考え、児童が増加し教室が足りなくなれば、増設することになる。

学校の中での安全安心の居場所づくりについて、文部科学省でかなり力を入れている。中道地区では、放課後児童クラブを北と南の両児童館で実施しているが、放課後児童クラブは両親が共稼ぎで家に帰っても誰もいない、面倒見る人がいない条件の人しか入ることができないが、誰でも入れる放課後子供教室というのを文部科学省で進めている。甲府市でも放課後子供教室は現在9カ所しかないが、なるべくたくさんさんの学校で実施できるように、学校や地域と交渉をしているところである。学校の規模にもよるが、北小学校を移転させたら、若干の余裕教室づくりそこで実施、または敷地内にプレハブをつくって実施するなど、安全面も考え敷地内で実施できることを想定した規模を考えている。

住民 学級規模についてはどうなのか。設備について、これからは冷暖房や通学路についての安全設備などどのように考えているのか。

教委 規模については、現在の北小学校と同規模と考えている。環境の整備については、当然、今よりも水準が低くなるようなことは考えていない。決まった場所に詳細に調査に入りどのような環境整備が必要なのか、また保護者の方から必要な設備など意見を聞いていきたいと思っている。冷暖房については、すでに設置している。

教委 これからの課題になるが、障がいをもっている児童が入学して、階段を上ることができないことを想定し、約束はできないがエレベーターの設置についても検討している。通学路については、狭いということと堰があるので危険であると思っているので、この辺が解決すべき課題ではないかと考えている。

住民 プールについても全て移転させるのか。

教委 はい。

住民 最初の頃の説明では、跡地は全て更地にするとのことだが、校庭の南側にはかなりの額をかけて設置した非常用貯水槽があるが、それも全て作り直すのか。

教委 基本的には、避難所で非常時に使えないということでは困るので、移転先が離れてしまうの

であれば移設することになる。

住民 体育館はどうなるのか。

教委 取り壊す。取り壊さないと補償の対象にならない。補償は、使用できなくなることが前提である。逆に体育館だけ残し避難所として使えるのかというとならぬ。避難所は生活スペース、事務スペース、物資の集積スペースが必要となるので単体だと駄目である。学校、体育館、グラウンドが一緒になって初めて避難所となる。

住民 跡地はどうなるのか。

教委 教育委員会がやるべきことは、学校の移転先を決めるところまでである。学校を建設するのは市長部局になり、完成したものを運営管理するのは教育委員会である。跡地の問題については、教育委員会が決めることができない。聞いた意見については、伝えていくことになる。

住民 この地区は、北小学校が避難所となっており地震については、対応できる建物になると思うが、昔からここに住んでいる人は水に悩まされている。最近は大雨が来ないので水の被害はないが、過去には浸水して逃げられないこともあったので、水にも強い学校にしてほしい。

教委 教育委員会でも検討しており、地震のときの避難所にはなっているが、水害のときの避難所にはなっていない。ただし、この一帯がハザードマップで見ると2mから5mの浸水地域であり、道路よりも畑のほうが低いので土地を上げて3階建ての校舎を建てればかなりの雨が降っても、2階、3階までは浸水することはないだろうと思っている。現状の地盤では低すぎると思っている。

住民 要望として、土地を上げてほしい、防音対策や空調についても普通教室だけでなく特別教室や体育館についてもお願いしたい。取り付け道路についても拡張と安全、それから地域の拠点となるので駐車場についても、グラウンドということではなく近くに確保してほしい。

教委 移転先が決まったら、保護者の方などに学校の設備や機能などについて意見を聞く機会を設けたいと思っている。

住民 前に5月までには決定したいと聞いていたが、今の目途としてはいつまでに決定していくのか。

教委 平成33年には開校したいと考えている。

住民 子供たちが安心して通える学校をつくってほしいそれだけである。

住民 学校の近辺の街路灯についても教育委員会に要請して設置してもらうことができるのか。候

補地案の場所になると中央道の側道が新しい通学路になると思うが、その場合暗いので街路灯をつけてもらうことができるのか。

教委 通学路については新しく学校が出来れば、検証されてくると思う。

教委 心配であれば、学校環境ということで要望をきく。また自治会として要望書を出しても良いのではないか。

教委 宮下地区の皆さんについては、候補地案ということで意見集約しても良いか。

住民 やむをえない。

住民 自治会の決定事項としてもらっては困る。宮下自治会はこういう意見が多かったということでお願いしたい。

教委 今日、ご参会の皆さんの意見は、こういうことが多かったと意見集約している。

住民 それなら良い。

教委 今後については、各自治会を回り、皆さんの意見を伺う中で、移転先を決定していく判断材料としていきたいと考えている。

6 閉会